



Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 101

令和7年7月17日

今月のキーワード

英語力向上に向けた取組

英語でコミュニケーション DAY

英語力向上に向けた取組について

文部科学省は、中学校3年生・義務教育学校9年生を対象に実施した「令和6年度英語教育実施状況調査」の結果を取りまとめ、公表しました。

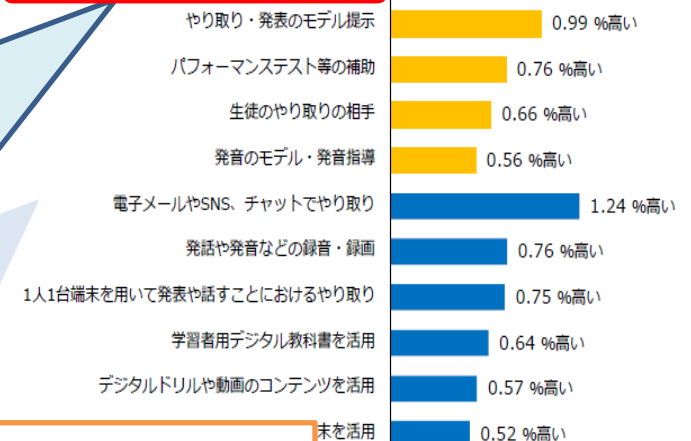
★「令和6年度英語教育実施状況調査」の分析結果より ★

- ・ICTの活用、ALTの参画に関わるほぼ全ての活動で効果が見られました。
- ・生徒がICTを通じて実際に英語を使う機会を設けることや、ALTが生徒の発言にフィードバックすることが、指導上重要です。

ICT活用やALTが生徒の英語力に与える効果

【グラフの見方】
例) この取組を「75%以上の授業で実施している学校」は、「50～75%の授業で実施している学校」よりも、**CEFR A1**以上の割合が1.18%高い。
※**CEFR A1**以上は、英検3級から準2級程度に相当します。

生徒の発言や作文等に対するコメント・フィードバック



ALT
(授業内)

ICT
(授業内)

枠間では数値の大きさの比較はできない

参考：令和6年度「英語教育実施状況調査」

★ALT活用のポイント★

- ・ALTが児童生徒の発言や作文等にコメントをしたり、フィードバックをしたりすることは、児童生徒の英語力の向上につながります。英語でコミュニケーションDAYにおいても、プレゼンテーションの発表の後や活動の最後にALTがフィードバックを行い、児童生徒の学習意欲を高めています。中間指導や授業の振り返り、パフォーマンステスト等を活用し、ALTが児童生徒にフィードバックを行う機会を設定してください。

★学習者用デジタル教科書活用例★

(小学校・義務教育学校5・6年生)

- ・児童が個別に単語の発音やスペルを確認する際に、**Picture Dictionary**を活用することができます。話す活動や書く活動において、児童が自分で英文を再構築する際にも、有効です。

(中学校1～3年生・義務教育学校7～9年生)

- ・教科書本文のリテリング(本文の内容を自分の言葉で再構築して話す活動)等の活動で活用することができます。生徒が本文の再生速度を変更したり、特定箇所の再生を繰り返し行ったりすることで、本文の内容を把握できるようになります。



英語で コミュニケーションDAY



5月から、「英語で
コミュニケーション
DAY」が始まりました。
今年度も、各学校の
実態に応じて様々な活
動を実施しています。



国分寺小学校での
買い物活動の様子

◆教科書との関連を図った活動◆

- ・ 4年生：「Unit7 What do you want?」
- ・ 5年生：「Unit7 What would you like?」

これらの単元で学習する表現を用いて、ALT と一緒に買い物活動を行いました。児童はオリジナルの品物を販売するだけでなく、友達や ALT のお店で商品を買う活動も行いました。教科書との関連を図りながら、児童は ALT と積極的にやり取りを行うことができました。



南河内小中学校での
買い物活動の様子



石橋小学校での
「Animal quiz」の様子

◆ALT とのやり取りを重視した活動◆

「Animal quiz」「Who am I quiz」
「Spelling game」

ALT が出すヒントを聞いて、動物やキャラクター、単語などを当てるクイズです。ALT は児童と様々なやり取りを行いながら、クイズを出題しました。児童は ALT の英語を真剣に聞いて、進んでリアクションをしたり、質問に答えたりすることができました。低学年の児童も、色や動物の名前など知っている単語を使い、ALT の質問に答えていました。



古山小学校での
「Spelling game」の様子



緑小学校での
体験活動の様子

◆ALT の出身国の体験活動◆

ALT は、出身国であるアメリカ、フィリピン、ジンバブエの食べ物や動物、スポーツなどについてプレゼンテーションを行いました。また、児童は ALT の出身国にちなんだクイズやゲームなどの活動を体験することで、各国の文化に触れることができました。最後に、ALT が行ったプレゼンテーションに関する〇×クイズを行い、活動を振り返りました。

